

特別展「瀬戸内ヒストリア」関連講座

講座番号① 海の学び講座(体験)
「古代の塩づくり - 藻塩づくり体験 -」
 日 時:10月13日(日) ①10:00~11:30 ②13:00~14:30
 講 師:藻塩の会(代表 松浦 宣洋氏)
 対 象:小学生~一般
 ※小学生は保護者同伴
 参加費:1,000円程度
 集合場所:愛媛県歴史文化博物館
 ※バスにて当館から会場(明浜町)まで移動します
 締 切:9月29日(日)

講座番号② 海の学び講座(歴史)
「戦国乱世の終焉と本能寺の変 ~岡山ゆかりの史料を中心に~」
 日 時:10月27日(日) 13:30~15:30
 講 師:内池 英樹氏(岡山県教育庁文化財課副参事)

講座番号③ 海の学び講座(考古)
「瀬戸内の土器製塩 - 特産品生産とヤマト政権 -」
 日 時:11月2日(土) 13:30~15:00
 講 師:大久保 徹也氏(徳島文理大学文学部教授)

講座番号④ 海の学び講座(バスツアー)
「瀬戸内海航路の功労者・広瀬幸平を知る」 親子で参加OK
 日 時:11月16日(土) 8:00~17:00
 対 象:小学生~一般
 ※小学生は保護者同伴
 参加費:6,000円程度
 場 所:新居浜市 バスツアー
 締 切:11月2日(土)

特別展「四国・愛媛の災害史」関連講座

講座番号① **「災害の記憶と文化の継承 - 東日本大震災と民俗文化財 -」**
 日 時:2月23日(日・祝) 13:30~15:00
 講 師:川村 清志氏(国立歴史民俗博物館准教授)

講座番号② 映画会「モノ語る人びと - 津波被災地・気仙沼から -」
 (平成30年・国立歴史民俗博物館製作)
 日 時:3月7日(土) 13:30~16:00
 講 師:葉山 茂氏(国立歴史民俗博物館助教)

講座番号③ **「安政南海地震の古文書を読み解く」**
 日 時:3月21日(土) 13:30~15:00
 講 師:井上 淳(当館学芸課長)

講座番号④ **「四国の地震災害史 - 過去の南海地震を知る -」**
 日 時:3月29日(日) 13:30~15:00
 講 師:大本 敬久(当館専門学芸員)

歴史講座

講座番号④ 源氏物語講座⑥
「光源氏の六条院邸 - 春の御殿の紫上 -」
 日 時:11月23日(土・祝) 13:30~15:00
 講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

講座番号⑤ **「御用絵師たちの姿 - 伊予松山藩を中心に -」**
 日 時:12月22日(日) 13:30~15:00
 講 師:長井 健氏(愛媛県美術館専門学芸員)

講座番号⑥ 源氏物語講座⑦
「光源氏の六条院邸 - 野分の見舞いと夕霧 -」
 日 時:3月28日(土) 13:30~15:00
 講 師:伊井 春樹(当館名誉館長)

古文書講座

講座番号③ **「宇和島藩士吉見家文書を読む①」**
 日 時:2月16日(日) 13:30~15:00
 講 師:安永 純子(当館専門学芸員)

講座番号④ **「宇和島藩士吉見家文書を読む②」**
 日 時:3月15日(日) 13:30~15:00
 講 師:安永 純子(当館専門学芸員)

民俗講座

講座番号④ **「四国遍路展のみどころ」**
 日 時:1月19日(日) 13:30~15:00
 講 師:今村 賢司(当館専門学芸員)

考古講座

講座番号③ **「中予の後期古墳 - 松山平野を中心に -」**
 日 時:1月18日(土) 13:30~15:00
 講 師:山内 英樹氏(松山市教育委員会)

講座番号④ **「東予の後期古墳 - 宇摩平野を中心に -」**
 日 時:2月22日(土) 13:30~15:00
 講 師:富田 尚夫(当館専門学芸員)

体験講座

講座番号⑤ **「本格的なクリスマスリースとミニスワッグ作り」**
 日 時:11月17日(日) 13:30~15:30
 講 師:吉川 陽子氏(聖 int Flower)
 対 象:一般
 参加費:2,000円
 締 切:11月3日(日)

講座番号⑥ **「水引でポチ袋作り」**
 日 時:12月1日(日) ①13:00~14:00 ②14:30~15:30
 講 師:武智 博子氏(水引アクセサリー-mizu fleur)
 対 象:小学生~一般 ※小学生は保護者同伴
 参加費:500円
 締 切:11月17日(日)

申込方法 希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座とバスツアーは2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。
 ※定員に満たない場合は申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。
 参加費は昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。小学生の方は保護者同伴でご参加ください。

《お問い合わせ》
 企画普及グループ・歴史文化講座係
 TEL (0894) 62-6222 FAX (0894) 62-6161

開館記念日

11月9日(土)・10日(日)

当館では11月で開館25年目を迎えます。開館を記念し開館イベントを実施いたします。常設展・特別展が無料でご利用いただけます。ぜひ、博物館へお越しください。

ご利用案内

■開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
 ■休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
 ■観覧料

区分	一般		団体(2割引)	
	大人(高校生以上)	中学生以下	510円	410円
常設展	無料	無料	無料	無料
テーマ展	65歳以上	260円	210円	

※特別展の観覧料はその都度定めます。 ※団体は20名以上です。
 ※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。
 ※上記の観覧料は消費税改正前の金額となっております。
 ご利用の際は再度お確かめください。

Museum Calendar 2019.9-11

9月							10月							11月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5			3	4	5	6	7	8	★	
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	★	11	12	13	14	15	16	
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	★	17	18	19	20	21	22	
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	★	24	25	26	27	28	29	30
29	30						27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	

展示スケジュール 2019.9-2020.3

2019	9	特別展 「瀬戸内ヒストリアー芸予と備讃を中心に」 9月21日(土)~11月24日(日)	常設展 えひめの歴史と文化
10	11	▶開館記念日イベント11月9日(土)・10日(日)	
12	1	▶新春イベント2020年1月2日(木)~1月5日(日)	
2020	2	特別展 「四国・愛媛の災害-地震・津波・水害の歴史と文化財レスキュー-」 2020年2月15日(土)~4月7日(火)	新常設展 蜜・空と海-内海清美展
3	3	▶おひなさまイベント2020年2月29日(土)・3月1日(日)	

愛媛県歴史文化博物館
 MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 いよてつ 総合企画
 〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2 電話:0894-62-6222
 【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>
 ●発行日 令和元年8月17日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture News



瀬戸内

- 芸予と備讃を中心に -

ヒストリア

令和元年 9月21日(土) - 11月24日(日)

*高松城天守イラスト(香川元太郎)

考古

しお つか もくせいよう き そうがたもくせいひん
塩づくりに使われた木製容器(槽形木製品)

出土地：多々羅製塩遺跡(今治市上浦町)
年代：古墳時代前期
法量：器高8.9cm 長側辺58.3cm
所蔵：愛媛県教育委員会/当館保管



今治市上浦町に所在する多々羅製塩遺跡は、芸予諸島で発掘調査された数少ない製塩遺跡です。遺跡は多々羅岬に向かって伸びる丘陵の裾部に位置し、多々羅水道に面しています。周辺の旧河川の堆積作用と海浜漂流の浸食・堆積作用によって形成された砂州上(標高0.5~1.7m)に立地しています。調査では、古墳時代前期の製塩炉2基の他に沼状遺構、自然流路、製塩土器を廃棄した遺構、土坑などが確認され、大量の製塩土器が出土しています。

出土遺物の中で注目されるものの一つに、槽形木製品と呼ばれる木製の容器があります。下層沼状遺構で発見されたもので、樹種は分析の結果、ヒノキであることがわかっています。また、観察するとノミ状の工具で加工されています。さてこの容器には何が入っていたのでしょうか。

土器を用いた塩づくりは、濃縮(採鹹)・煮沸(煎熬)・焼塩という工程で行われました。採鹹は、高い濃度の海水(鹹水)を得る作業です。煎熬は、鹹水を製塩土器で煮詰め、結晶塩を得る作業です。焼塩は、結晶した塩を焼いて、不純物を取り除く作業です。

この容器の内部の分析等は行われず、どのように使用されたかはわかりませんが、中央部が長方形に削り抜かれています。製塩遺跡から出土したことから、塩づくりに使用された可能性が高いと考えられます。おそらく、鹹水が入れられ、煎熬の工程で、製塩土器に注がれたのではないのでしょうか。近年、伊予市上三谷篠田・鶴吉遺跡の発掘調査では、この槽形木製品と類似した大きさ・形状のものが出土しています。この遺跡では塩づくりは行われていませんが、何らかの液体を入れた容器だと考えることができます。資料を前に当時の人々の塩づくりの様子を想像してみませんか。

(専門学芸員 富田尚夫)

本資料は、特別展「瀬戸内ヒストリアー芸予と備讃を中心に」(会期：9月21日~11月24日)で展示します。

歴史

いまばりしちくこうかんせい きねん え きねん
「今治市築港完成記念絵はがき」と記念スタンプ

年代：昭和9年(1934)
所蔵：当館蔵

今回ご紹介する資料は、今治港の完成を記念して発行された「今治市築港完成記念絵はがき」と記念スタンプです。今治港では、明治3年(1870)に今治と大阪を繋ぐ航路が開設され、その後は宇品や尾道などへの航路が運航されるようになりました。今治港を利用する航路が増えるに伴い、今治港湾の修築が計画され、大正9年(1920)第1期の工事が始まります。第1期工事は大正12年に完成し、引き続き第2期工事に着手され、翌年には今治港務所が開設されました。そして昭和9年(1934)、14年の歳月をかけ、今治港は完成しました。

資料写真の「今治港落成の記念スタンプ」の切抜記事によると、この記念スタンプは今治港の築港竣工式と祝賀会が行われた3月30日から3日間のみ、今治郵便局で一銭五厘以上の郵便切手を貼った葉書に押印されたようです。当館所蔵の「今治市築港完成記念絵はがき」には、いずれにも一銭五厘の切手と共に昭和9年3月30日の記念スタンプが押されています。この記念絵葉書は、もとは何枚セットであったかは不明ですが、当館には5枚セットが残っています。

絵葉書を包む封筒には、「大正の広重」として人気の画家・吉田初三郎の絵が使用され、港に停泊する船や工場の煙突など産業都市・今治の姿が描かれています。葉書の絵柄は、今治港に停泊する船の様子や、完成した今治港の荷揚場などと、今治市の航空写真、吹揚城(今治城)跡です。停泊する船を見てみると、大型船や小型船など様々な船が寄港しており、当時の賑わいをうかがい知ることができる資料です。この資料は、特別展「瀬戸内ヒストリアー」で展示いたしますので、ぜひご覧ください。

(学芸員 甲斐 未希子)



| 特別展 |
瀬戸内ヒストリアー

ー芸予と備讃を中心にー

令和元年 9月21日(土) - 11月24日(日)
(休館日：9/24、30・10/8、15、21、28・11/5、11、18)

【観覧券】 大人(高校生以上)450円(360円) 小中学生・65才以上230円(180円)
*()は20名以上の団体料金
*他にお得な常設・特別展共通券もあります。

海の道が織りなす
2000年の歴史をいま紐解く

「瀬戸内しまなみ海道」が
開通20周年を迎えることを記念して、
古代から近代までの瀬戸内の歴史を振り返ります。
「海上交通」・「生業」・「戦い」・「城郭」・「ツーリズム」。
5つのキーワードで、それぞれの時代の
交流の歴史を紹介します。
海から広がる瀬戸内ヒストリアーの世界を
お楽しみください。

関連イベントのご案内

特別展関連ワークショップ

船のポストカード
をつくろう!
多色摺りを体験しよう!

日時 会期中の土・日・祝日
13:00~15:00

場所 エントランスホール

参加費 100円

※特別展観覧後にアンケートにご記入いただいた方は
無料で参加できます。
ワークショップ受付にアンケートをご提出ください。



特別展関連講座

海の学び講座

古代の塩づくり
ー藻塩作り体験ー

日時 10月13日(日)

①10:00~11:30
②13:00~14:30

講師 各回20名

藻塩の会(代表 松浦 宣洋氏)

会場 西予市明浜町大早津海岸

参加費 1,000円

※愛媛県歴史文化博物館から
明浜までバスの送迎がございます。
※申込方法は本紙P4をご確認ください。



25周年 25th Anniversary
歴博開館記念イベント

2019年11月9日(土)・10日(日)
今年は2日間開催! 常設展・特別展観覧料無料!!

れきはく市・
はに坊のどんぐりマルシェ

日時 11月9日(土)・10日(日)
10:00~16:00

れきはく☆お菓子まき

日時 11月9日(土)
①10:00~ ②14:00~

※お菓子がなくなり次第終了します。



れきはくのあしあと

7月13日から始まった特別展「ダンボールアート遊園地ー海賊船が歴博にやってきた!ー」。「しまなみ海道テトコ」や大きなお城の迷路、全長7mの海賊船などで、たくさんのお子さんが元気いっぱい遊んでいる姿が見られました。また、初開催のデジタルアートイベント「アソビーツ」も大好評!お盆期間の8/10~8/16には恒例のれきはくこども夏祭りも開催し、たくさんのお客様にご来館いただきました。



友の会よりお知らせ

友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合は、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

お問い合わせ先 友の会事務局
0894-62-6222